

( 様式 )

#### 第4回かわにし市民会議 議事メモ

班	5班「やりがいの持てる地域活動の促進」
コーディネーター	伴 幸俊
ナビゲーター	松本 小牧
説明担当者(自治体)	なし
日時	2019年8月24日(土)13時00分から16時00分
場所	川西役所2階 202会議室
その他	参加者数 12名

#### 趣旨・概要

部会員からの5つのテーマについての現状及び課題を説明

ナビゲーターからの説明 (豊明モデルについて)

2班に分かれて議論 A班:情報発信、高齢者福祉

B班:子育て、防災、自治会・コミュニティ

#### 総括

##### 班発表者総括

A班:市と民間企業が一緒に取り組む豊明モデルの話が参考になった。前回、カレンダープロジェクトの話が出ていたが、ナビゲーターからの提案として、イベントの時間割を作って運用していくのはどうかという提案もあった。

B班:地域活動については、やはり自治会が何をやっているのかわからないという意見があった。小学生でもわかるような内容でわかりやすく伝えることが大切だと思う。災害時に対応できるよう、日頃からの地域とのつながりが大切だと感じた。市の既存の防災マップは小さくて見にくいいため、自分たちの各地域にあったマップが作れるといいのではないかという意見があった。また、実際に災害にあったときに、どう対処すればいいのかを書いたガイドブックもあわせてできればいいという話も出た。

##### コーディネーター総括

今回は2班に分かれて少し議論を深めることができた。次回は実質の最終回なので、しっかりまとめていきましょう。

##### ナビゲーター総括

私がこれまで地域づくりにいろいろ関わってきて思うのは、答えは東京にはなく、自分の足元にしかないということです。ぜひ無いものをねだるんじゃなくて、あるものに気が付いてほしいと思います。今日私たちは民間企業と一緒に取り組んだ事例についてご紹介しましたが、私たちの街よりも皆さんの街のほうがたくさんの資源、たくさんの宝物があるので、そういったものに気が付いていないことが多々あるんじゃないかということが皆さんへのメッセージです。

参):市民参加者、コ):コーディネーター、ナ):ナビゲーター、市):説明担当者

( 様式 )

## 協議の流れ

### 1 第3回市民会議振り返り

前は2グループに分かれて議論を行い、テーマを絞り込むところまでやった。絞り込んだテーマごとに、部会員が現状や課題、改善策のアイデアをまとめたものを作成しているため、それを参考に議論をすすめていく。

### 2 部会員より5つのテーマについて、現状と課題について説明

自治会・コミュニティ

#### 【現状】

##### 地域での取り組み

自治会(134団体)

・夏祭りや運動会のイベント、防犯パトロール、防災訓練、回覧板や掲示板などで生活にかかせない情報を発信・提供を行う。

コミュニティ(14団体)

- ・概ね小学校区域ごとに、自治会、PTA、こども会、老人会などで構成されている。
- ・通学路見守り活動や防災訓練は、コミュニティ単位で行うことで小学校区の全域で連携を取ることができる。
- ・コミュニティとして地域住民の居場所づくりに積極的に取り組んでいる。

##### 市の関わり

自治会...報償金の支給、自治会加入促進チラシの作成・転入者への配布

コミュニティ...一括交付金の交付、学校プール開放

#### 【課題】

##### 市民が思う課題

自治会やコミュニティが何をやっているのかわかりにくい。

隣近所との関わりが薄れている。

##### 市が思う課題

自治会加入率が減少している。

住民が主体で取り組むだけでなく、民間事業者やNPO、学校と連携できていない。

防災

#### 【現状】

##### 地域での取り組み

市内全域で14の「自主防災組織」の結成(市民全員が加入している。主体は自治会の役員の方)。一部の地域では「地区防災計画」作成に着手している。

防災訓練の実施(14自主防災組織中11の自主防災組織で実施)。避難場所の確認など具体的な訓練を実施している地区もある。

災害時に市や地域の自治会や福祉委員会、民生委員児童委員協議会、自主防災会など、

参) : 市民参加者、コ) : コーディネーター、ナ) : ナビゲーター、市) : 説明担当者

( 様式 )

さまざまな団体が連携して、要支援者の安否確認を行う。

#### 市の関わり

防災訓練への支援（人、防災グッズの貸し出し）、出前講座、自主防災組織連絡協議会の事務局（危機管理課）

地区防災計画を地域と一緒に作る（学校、避難所対応職員）（危機管理課）

避難行動要支援者対応マニュアルの作成、安否確認（避難行動要支援者）登録（地域福祉課）

#### **【課題】**

##### 市民が思う課題

災害時にどう対応すればいいのか分からない。どのような情報やルールに基づいて行動すべきか分からない。

<非常時対応を通じた地域活動の活性化> 地域交流が不十分（災害時には日ごろの地域交流が必要）

地域交流があまり行われておらず、災害があった際に、助け合えるか不安

地域で防災意識が根付かない

自分の避難場所を知らないなど、災害時に対する意識が低い。

##### 市が思う課題

防災訓練の参加者の固定化 自治会に積極的に参加している方が参加

防災訓練の PR 不足 防災訓練を行っていることを知らない方が多数（自主防災組織に加入していることを知らない方も多数）

自主防災組織間での温度差 しっかりと防災訓練や出前講座を行う組織もあれば、全くなにも行わない組織もある。

子育て

#### **【現状】**

##### 地域での取り組み

「コミュニティ協議会」活動（14 組織）：多世代交流イベント、体育祭・文化祭等を通じた世代間交流イベント、居場所づくり、チャレンジ事業など

「自治会」活動：子ども会の運営、地域での祭り、など

「青少年育成市民会議」（7 中学校区ごと）：地域での総合的な青少年の健全育成活動 育成団体の連絡・調整、あいさつ運動や子ども達の見守り活動など独自の事業

「こども食堂」の実施：NPO 法人による子ども食堂・学習支援会などの開催

##### 市の関わり

地域への交付金（コミュニティ協議会への地域づくり一括交付金・チャレンジ事業交付金、青少年育成市民会議・子ども会連絡協議会への活動費補助など）

ふるさと支援金：各コミュニティ組織を指定したふるさと納税の使い道指定（寄付者は市外在住者のみ）

参）：市民参加者、コ）：コーディネーター、ナ）：ナビゲーター、市）：説明担当者

( 様式 )

イベント等の実施場所の提供 ( 学校、公民館、公園など )

学校運営協議会の開始 ( H31 ~ : 4 パイロット校についてコミュニティスクールの実施に向けた取組み )

放課後こども教室の実施 ( 地域の人材を活用 )

#### 【課題】

##### 市民が思う課題

子どもを安心して預けられる、行かせられる場所がない

子どもが大人 ( 異なる世代 ) と接する機会が減少し、社会性を養う機会が減少している

##### 市が思う課題

地域が子どもを育てる土壌をつくる

地域住民と共に、民間企業や NPO 法人も交えた子育てができる地域づくり

地域の人材や能力、技術を積極的に活用できるようにするためのコーディネート ( ボランティア、特技・キャリア、事業者、NPO など )

情報

#### 【現状】

##### 地域での取組み

コミュニティ独自のホームページやコミュニティだより ( 紙面 ) 発行により活動状況を PR している。

##### 市の関わり

ホームページにてコミュニティ活動情報やコミュニティのホームページをリンクして、情報提供を行っている。

市民活動センター ( パレット川西 ) にて会議・資料作り、交流、PR、仲間づくりなど活動の促進のための情報や場を提供している。

#### 【課題】

##### 市民が思う課題

情報を得る機会が少ない。

- ・どこに掲載されているかわからない。
- ・スマホに対しプッシュ通知をするなど、情報を発信する工夫をしてほしい。

情報が正確でない。

- ・新しい情報に更新されていない

掲載内容がわかりにくい

- ・どうしたら参加できるかなど、詳しい情報がない
- ・イベントなどがどこで、いつ開催しているかわからない。

##### 市が思う課題

必要な情報が求めている人に届いていない。

参) : 市民参加者、コ) : コーディネーター、ナ) : ナビゲーター、市) : 説明担当者

( 様式 )

地域活動などに関心がある人だけでなく、関心のない人を取り込むような情報がない。  
地域内だけでなく、外部（企業、学校など）から情報交流する場がない。  
地域が主体となって発信する情報を活性化する効果的な取組みがない。

#### 高齢者福祉

高齢者の現状：現在、65歳から79歳までの高齢者人口が、前後の人口と比べて非常に多くなっている。団塊の世代が75歳以上となる令和7年までに、要支援・要介護認定者が急速に増加すると予想される。

#### 地域での取り組み

- ・民生委員による一人暮らし高齢者の訪問
- ・老人クラブ

#### 市の関わり

- ・住み慣れた地域で安心して生活を継続できるよう、介護予防ケアマネジメントを行い、各地域包括支援センターにおいて「いきいき元気倶楽部」を実施。

【高齢者いきがいづくり推進事業】老人クラブ支援事業、高齢者祝福事業、高齢者ふれあい事業（ふれあい入浴、貸農園）、シルバー人材センター支援事業

【在宅高齢者支援事業】訪問理美容サービス、緊急通報サービス、日常生活用具の給付・貸与、住宅改造費助成事業、高齢者外出支援サービス

#### 【課題】

##### 市民が思う課題

- ・医療や介護の支援が必要になっても、住み慣れた地域で暮らし続けたい。
- ・外出の際の移動支援サービスの充実が必要
- ・介護予防を含めた健康事業
- ・定期的に声をかけてくれる見守り
- ・草引き、簡単な家事を代行してくれるボランティア

##### 市が思う課題

- ・従来の行政サービスだけでなく、民間サービスの活用の検討が必要

### 3 「ふつうに暮らせるしあわせ」産官学民の力が結集する地域包括ケア豊明モデル

(ナビゲーター 愛知県豊明市健康福祉部健康長寿課 課長補佐 松本 小牧氏より説明)

- ・「高齢者福祉」という表現は古い。今は元気な高齢者が多いため、豊明市では課の名称が健康長寿課になった。
- ・豊明市のキャッチフレーズは「普通に暮らせる」である。普通に暮らせることが幸せなこと。普通に暮らすには、心身ともに健康であること、暮らしが成り立っていること、誰かに必要とされていること（行く場所、やることがあるなど）が必要不可欠。
- ・豊明モデル（民間事業者のサービスを活用し、高齢者が外出するきっかけとなる取組み）が取り上げられたDVDを上映し視聴

参)：市民参加者、コ)：コーディネーター、ナ)：ナビゲーター、市)：説明担当者

( 様式 )

- ・温泉への送迎バスや、コープの買った商品の宅配サービスなど、既存の民間サービスの情報を収集し、市が実施している健康体操時や、民生委員やケアマネを通じて直接高齢者に PR している。
- ・豊明市は、行政負担はゼロで、高齢者が出かけたいと思う出掛先の PR を実施しているだけ。それで、企業の収益も上がり、高齢者も元気になり、介護予防として効果的。
- ・最近では地域のつながりが薄れており、既存の老人会や自治会、地域のサロンへの参加意欲は低下している。しかし、温泉には行きたいと思う。繰り返し行くうちに、名前は知らないが、顔見知りになる。
- ・都市部では、特にコミュニティの加入者数が減少する傾向にあるため、都市型の新しいつながりを創出することが必要となる。
- ・川西市は民間企業も店舗もある。同様なサービスを実施することはできると思う。

#### 4 A 班 ( 高齢者福祉、情報発信 ) B 班 ( 子育て、防災、自治会・コミュニティ ) に分かれての議論

< A 班 >

高齢者福祉

市) ナビゲーターに質問はありますか。

参) 企業とコラボするにあたり、どのようにすすめたのか。

ナ) 市からアプローチを始めるが、店長クラスではなく、市民がエリアマネージャーを紹介してくれたり、スポーツクラブの会員の市民が役職者を紹介してくれたこともある。また、企業が企業を紹介してくれるようにもなった。

参) 温泉に入るにも利用料が必要と思うが、皆どうして通えているのか、費用面で負担感はないのか。

ナ) 温泉に行く代わりに、お風呂を沸かさなくていいなど、生活全体の中での支出が抑えられることでクリアしている。対象となっている人(団地の居住者)は主に低所得者層である。しかし、お風呂の利用に約3万円/月を支払っている。要するに、何を重要視するかを把握することが重要である。

参) 川西に新たに温泉施設がオープンしたが、利用料金が高すぎる、休憩スペース、バスタオルにも料金が発生するので、利用しにくい。

参) 以前から緑台にある温泉の方が利用しやすい。

参) コープでは、川西にあるコープも宅配サービスは実施していたと思う。

参) 企業と提携を組むと聞いたが、どのように広報しているのか

ナ) PR にはマスコミを利用している。新聞に大きく載せてもらおうと効果的。

参) 市(行政)が民間企業を PR する上で壁はないのか。

ナ) 数ある高齢者の出掛先の一つとして、自然に企業に声をかけている。企業と手を組む(応援する)が、利益が上がる保証はないと伝える。また、どこでも組むという姿勢をとっている。

参) : 市民参加者、コ) : コーディネーター、ナ) : ナビゲーター、市) : 説明担当者

( 様式 )

ナ) 行政の委託事業とは切り分けて考えている。

参) 川西市では阪急グループはバス、タクシー、スーパーが揃っているため、協力を求めているかどうか。CSRとして協力してくれるのでは。

ナ) 豊明モデルは、見えていない資源を職員が情報収集し市民にPR、暮らし方の提案をしているだけ。市民が望むものを行政が企業に伝えているだけである。既存の資源を活用する工夫が必要である。

#### 情報発信

市) 前回、カレンダーづくりを実施する話がでていたが、何か意見はありませんか

ナ) 私が今考えているものを提案させてください。

「時間割をつくる」というもので、子育て世代、高齢者世代に分けて時間割を作成し、強制参加ではなく、行きたい行事には、JTBを通して申し込みをするというもの。一般的にニーズがあるところに必要な情報が行っていない。その情報収集する人がいない。豊明市では情報収集を職員が行っている。

参) 川西市の広報は投函して終わり。そうではなくて、必要な人に伝えるところまでする必要があると思う。情報が届かなければ、意味がない。

< B 班 >

#### 自治会・コミュニティ

参) 私の自治会は入れ替わりが激しく、若い人は自治会が何をやっているのかわからない人も多いと思う。ゴミ出しのルールも教えてあげたりした。

参) 先日、自治会がやっているお祭りに行ってみた。貼りだしてある画用紙を見たところ、お祭りをはじめ、色々な取組みが自治会費を使って開催されていることが記載されていた。何に使っているのかをわかりやすく出すことはとても大事だと思う。参加する人が何をやりたいのか、無記名のアンケートをとってみてはどうか。

参) そもそも自治会はないと困るものなのか。参加したくないわけではないが、ゴミ捨場の話だけであれば自治会じゃなくてもいいと思う。自治会加入率が高いところは何をやっているのか、すごく不思議だ。

市) 自治会加入率と各自治会の取組みの関係を担当課に確認したが、はっきりしたことは出ていない。ただ、自治会の加入率が低くても地域活動はコミュニティで活発にやっているところもある。

参) 世代にもよるだろう。まったくないと繋がりがなくて不安になる人もいると思う。

参) 災害があったときは困ると思う。隣近所と助け合うことが大切ではないか。

コ) 私の住んでいる愛知県豊田市では、自治会に入るものだという刷り込みが昔からあった。川西市でも古くからの地域と新しいマンションでは状況が違うのではないかと思う。なぜ必要なのか?と考えることはとても大事である。

参) 自治会が1年間、10年間なかったらどうなるのかというのを、わかりやすい図で出してみてはどうか。

参) : 市民参加者、コ) : コーディネーター、ナ) : ナビゲーター、市) : 説明担当者

( 様式 )

参) それがあればとてもいいと思う。それから、お祭りもやるのであれば、1回500円と  
いった会費制にするのはどうか。

参) お祭りはお金を集めるだけではできない。役員が一生懸命やってこそ成り立ってい  
る。

参) 仕事や介護などで忙しくても参加できるような自治会になればよいと思う。

参) 自治会は最低限の役割を担い、お祭りなどはコミュニティで規模も大きくやってみる  
のもよいと思う。

#### 防災

参) (市の説明を聞いて) コミュニティの自主防災会の一員だとは認識していなかった。  
みんなそうだと思う。

市) 自主防災会の一員になっていることは、私自身、今回調べて初めて知った。多くの方  
がこのことを知らないことは課題である。また、防災訓練についても、いつどこで行  
っているかなどの情報が届かないことも課題だと思う。

参) 私は東日本大震災も経験した。被災したときに、何が必要かを教えてほしい。例え  
ば、水をろ過する方法や簡易トイレの作り方など、知らなければできないことがたく  
さんあると思う。

参) 市の資料の中に、イベント形式の防災訓練の提案があるが、とてもいいと思う。自分  
が考えたのは、コミュニティで運動会をやるときに、地域ごとに安否確認競争とかや  
っても面白いのではないか。

市) もう一つ地域の防災マップづくりを施策提案として挙げてみた。市の防災マップは市  
全域のため、地域ごとに住民しか知らないような情報を載せたものや、先ほど提案の  
あった水のろ過方法などを一緒にしたガイドブックのようなものを地域で作成しても  
面白いと思う。

参) 災害弱者の避難も考える必要があると思う。

市) 要支援者は申請があれば民生委員等から安否確認をしてもらうことはできるが、昨年  
度の台風の際に民生委員等が外出しており、安否確認ができなかったケースがあった  
ようだ。やはり地域でしっかり連携を取ることが重要ではないか。

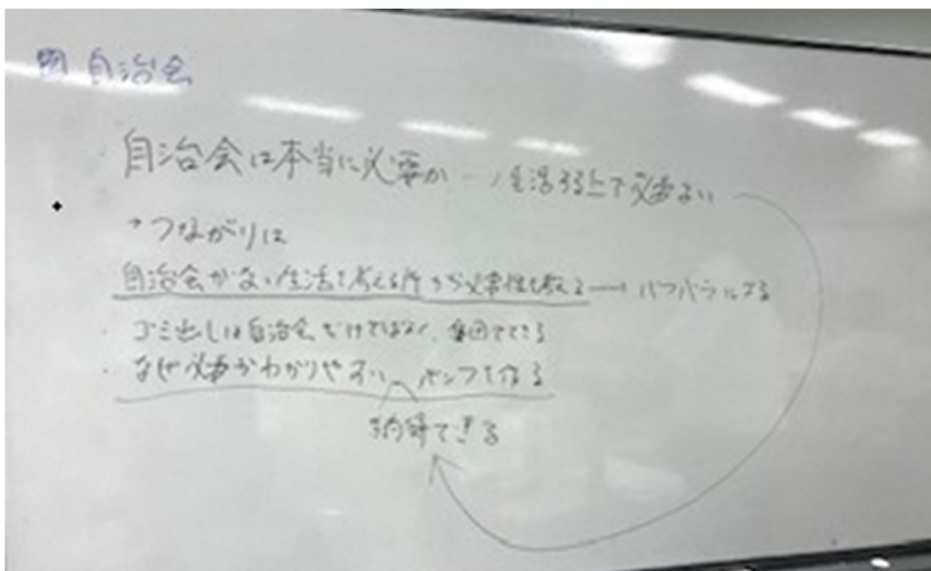
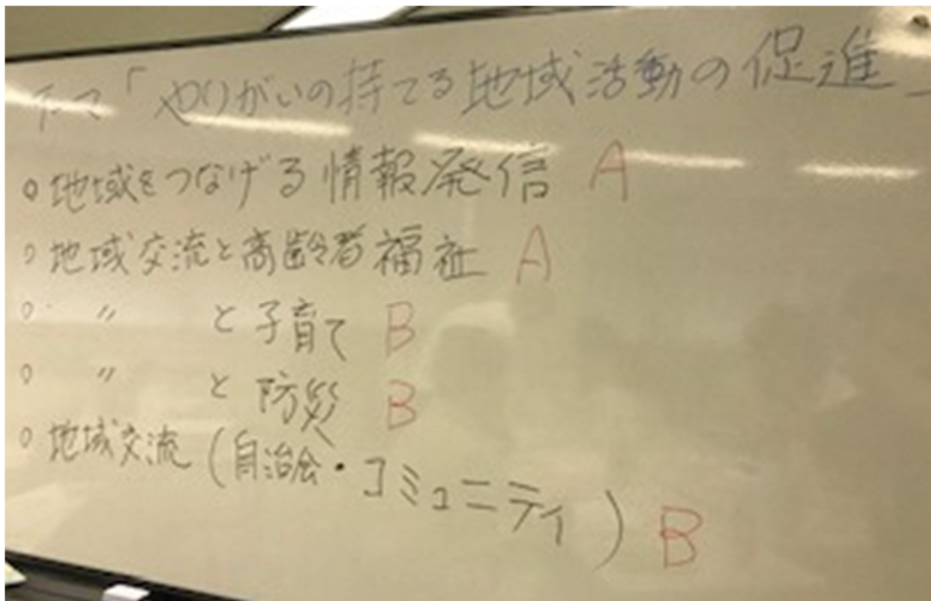
コ) また次回は具体的にどう取り組んでいくか議論していきましょう。

参) : 市民参加者、コ) : コーディネーター、ナ) : ナビゲーター、市) : 説明担当者



( 様式 )

ホワイトボードの写真



**次回の会議に向けた準備**

次回の会議の目標

- ・各テーマにおいて、部会員が施策を提案し、具体的な取組み内容を議論する。

次回の会議に向け準備する資料等

- ・かわにし市民会議からの提案(案)

**備考 (その他、記録すべき事項を適宜追加)**

参) : 市民参加者、コ) : コーディネーター、ナ) : ナビゲーター、市) : 説明担当者